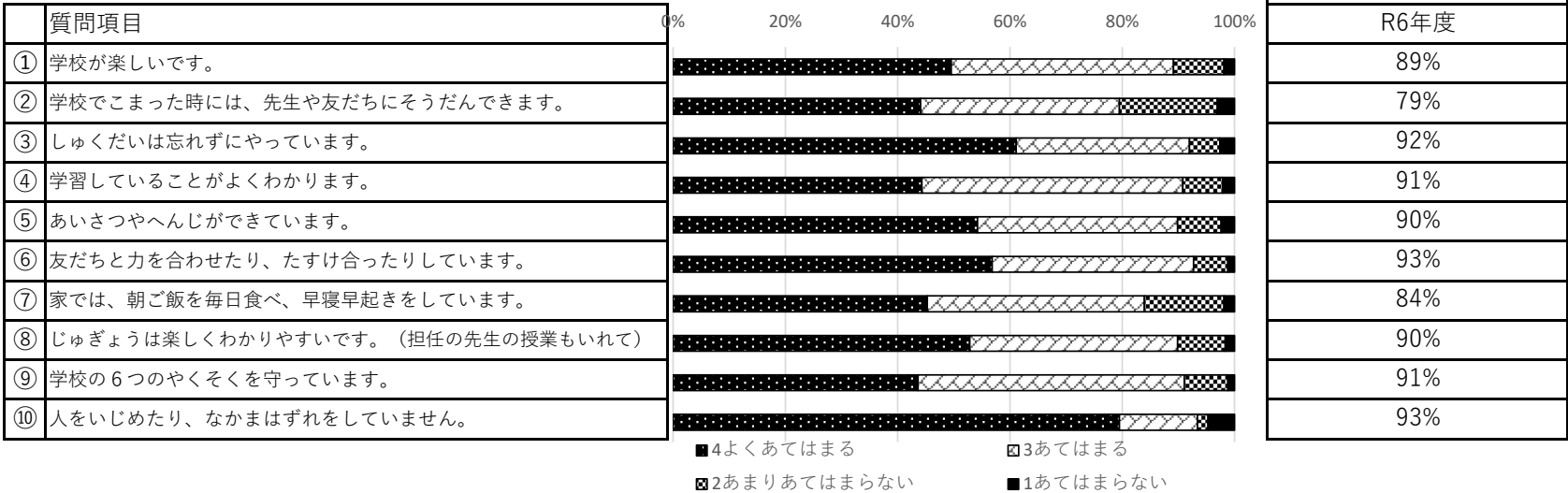


令和6年度学校評価アンケート

12月に実施しました児童及び保護者の皆様のアンケート結果です。分析結果を踏まえ、来年度に向けて改善していけるよう検討してまいります。

大津市立石山小学校

児童評価



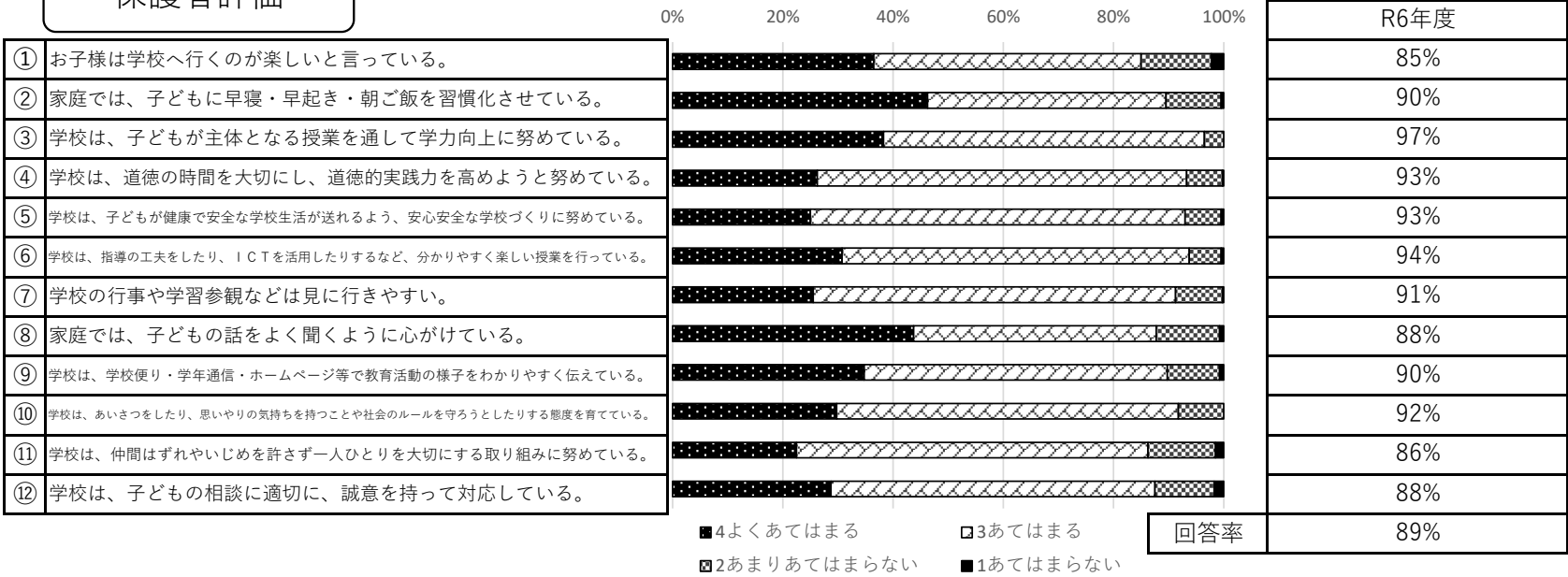
・全ての項目において肯定的意見が多数を示す結果となりました。昨年と比べ、多くの項目は1％程度の増減で大きな変化はありませんでしたが、3％程度下回る結果となった項目もあります。ただ、一昨年度から比べると、多くの項目でポイントが高止まりしています。昨年度に新型コロナウイルス感染症対策による制限がなくなり、学校行事や学級での取り組みが自由にできたことが大きく影響していると思われます。

・⑥「友だちと力を合わせたり、たすけ合ったりしています」は、昨年を3ポイント下回ったものの、肯定的な回答が93％と全項目の中で⑩とともに、一番高い割合を示しています。今年度は本校の150周年にあたり、周年行事を子どもたちの意見を取り入れながら実施しました。その際に、子どもたちが主体となって運営するブースを設けました。上学年はクラス単位で当日の運営について議論を重ねて、友だちと力を合わせて一つのことをやり遂げることができました。⑥が昨年度に引き続き90％を超える高いポイントとなっているのは、これらの取組を昨年度から引き続き実施していることが大きな要因と思われます。今後も子ども同志がかかわる機会を意図的に設けることを通して支持的な集団を形成していきます。

・⑩「人をいじめたり、なかまはずれをしていません」の項目は93％の児童が肯定的な回答をしています。よくあてはまるの割合が他に比べて非常に高く、自信をもって回答している児童が多いのが特徴です。また、⑩は⑥の結果が影響していると思われます。支持的な集団を形成することは、友だちを思いやる気持ちを育てることにつながり、いじめやなかまはずれを予防することになるからです。また、年に3回設けているいじめ防止強化月間での取り組みや、外部講師を招聘してのいじめ防止の取組を通じて、理解教育を進めていることも結果に出ていると思われます。ただ、一方で理解が進んだとしても「いじめ」が0にならないのも事実です。子どもたちは「いじめ」をしてはいけないと理解してはいるが、自分の行動と結びつけることができない場合もあります。現在の取組を継続し、あらたな「いじめ」をださないために、複数の目で子どもを見守り、情報共有することで早期発見、早期解決につなげていきます。

・②「学校でこまった時には、先生や友だちにそうだんできます」は、79％の肯定的な回答があるものの、昨年同様約2割の児童が相談できずに困っていると捉えています。教育相談期間に限らず、普段から子どもと話す機会を設けることを意識していくとともに、悩みを抱えている子どもについては、情報を共有して担任以外の教員も積極的に声をかけ、相談しやすい関係がつかれるようにより一層心がけていきます。

保護者評価



・今年度の回答率は89％でした。大変多くの方々に回答いただきありがとうございました。本校の教育活動に興味関心を持っていただけたことをうれしく思います。また、すべての項目において85％を超える肯定的な回答をいただきました。学校の取組について肯定的にとらえていただいていることに感謝いたします。しかし、一方、項目によってはポイントを下げた項目があり、今後改善が必要であると考えています。

・①「お子様は学校へ行くのが楽しいと言っている」、⑪「学校は仲間はずれやいじめを許さず、一人ひとりを大切にする取り組みに努めている」、⑫「学校は、子どもの相談に適切に、誠意を持って対応している」については、例年、80％台で推移しています。⑪⑫のポイントが上昇すれば①についても上昇すると考えます。⑪については、いじめ防止強化月間や教育相談などの取組について保護者の皆様に周知が十分でなかったと考えます。どのように周知していくのか再考し、取り組みについても検証してより良いものにしていきたいと考えています。⑫については、年々ポイントは上昇していますが、まだ80％台後半です。どちらもご家庭にとって重要な項目ととらえています。学校は保護者の皆様との信頼関係が大切であるということを念頭に置き、家庭との連携を重視し、改善に努めていきます。

・③「学校は子どもが主体となる授業を通して学力向上に努めている」は、97％の方が肯定的な回答をされています。また、⑥「学校は授業の工夫をしたり、ICTを活用したりするなど、分かりやすく楽しい授業を行っている」においても昨年度より大幅な上昇がみられ、94％の方が肯定的な回答をされています。本校では、授業の流れを石山スタンダードとして統一しています。子どもたちが自分の思いや考えを表現できる場を保障したり、授業を振り返る場を設けたりして、学力向上に努めていることが保護者の皆様にご理解を得られていると考えます。今後、自信をもってより一層学力向上の取組や、分かりやすく楽しい授業をするための取組を進めてまいります。

・⑧「家庭では、子どもの話をよく聞くように心がけている」については、昨年度から7ポイントの下降が見られ、88％です。自由記述で「その日嫌だったこと、楽しかったことを聞いて、前向きに頑張ってる姿を沢山褒めてます」など肯定的な意見も多数見られることから、取り組まれていないわけではないと思われますが、今一度、子どもたちの話に耳を傾ける意識を持っていたらと思います。

・自由記述として「自分のお子さんの成長を願って、ご家庭で取り組んでいらっしゃることに記述していただきました。紙面の関係ですべてを取り上げることはできませんが、「家庭が安心できる場所であるように、よく話を聞き、頑張る姿を応援しています」「出来るだけ子供の意見を尊重し、何事にも前向きに取り組むよう声かけをしています」「あいさつ、片付けなど、基本的なことはしっかりできるように、親も含めて取り組んでいます」など各家庭でお子さんの成長を願って取り組みをされていることがよくわかりました。ご家庭によって取り組みは様々ですが、いずれも「子どもの自立」につながる大切なことだと感じました。学校は、このアンケートで回答いただいた保護者の思いや願いを踏まえて、教育活動にあたることが重要であることを再認識しました。